

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LITALICOジュニアなかもず教室			
○保護者評価実施期間	2024年 7月 24日 ～ 2024年 8月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65名	(回答者数)	62名
○従業者評価実施期間	2024年 7月 24日 ～ 2024年 8月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明が行われていること	お子さま一人一人に最適な目標設定を設定し、その目標に沿って支援を行っております。指導後は実施プログラムの評価をし、目標達成に向けての指導を行えるよう努める。児童発達支援計画の提示をする際には、支援内容を丁寧に説明を行い保護者様と合意をとることを徹底する。	引き続き、児童発達支援計画のご説明以外の場面でも保護者様との接点を持つこと、さらにお子様のアセスメントの質を高めていくことを研修などを通じて機会を創出していく。
2	ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていること	ペアレントトレーニングを実施したり、保護者様向け座談会を通じて情報提供の機会等を行い、支援時以外にも家族支援の機会を創出しています。	引き続き、ペアレントトレーニングや、座談会を実施し、親御様が新たに求める機会を情報収集してニーズに沿う機会を創出していく。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていること	日々お子様に合わせたプログラムを立案し支援を実施する。また固定化されないようにモニタリングを行いプログラムに変化を持たせるミーティングをチームで実施する。	引き続き、支援の内容を広げる学び合いの機会を作ること、多様なプログラム開発を実施していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ないこと	保育所等訪問支援などで連携しているが、そこまでの連携となっており、地域のこどもとの機会までつくれていない。同じ目的を共有する機会をつくれていない。	連携されている園などと勉強会を実施していくことを提案していく。
2	こどもにわかりやすく構造化された環境になりきれていないこと	集団指導において、危険を予測した構造化がされていないときがある。お子様が情報をキャッチできるような視覚的な提示などが不足している	お子様が活動に参加しやすいように、コーナー分けをしたり、安全に参加できるように危険予測した机や椅子の配置を考える。また情報伝達がスムーズになるように視覚提示を工夫していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						
LITALICOジュニアなかもず教室		2025年 3月 20日						
		利用児童数		65名		回収数 62名		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54	6	1	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	50	6	2	4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	49	10	2	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	53	7	2	0	床の汚れが少し気になる。裸足で行くと、結構足の裏が黒くなる時がある	教室内は、教材やヘッドホン等の備品含め清掃の箇所や手順等を定めたチェックシートに基づき、毎日清掃・消毒を行っております。引き続き、衛生的な環境を保てるよう努めてまいります。教材や遊具、設備等に危険な箇所がないか確認する手順を定めたチェックシートに基づき、毎日チェックしてまいります。ご不明点等ございましたら速慮なくお申し付けください。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	48	9	1	4		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	55	5	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	48	9	1	4	現状の支援計画に基づいて支援を行っているか、集団支援で不明瞭に感じる時がある	お子さま一人一人に最適な目標設定を設定し、その目標に沿って支援を行っております。指導後は実施プログラムの評価をし、目標達成に向けての指導を行えるよう努めております。指導内容にご不明点などあれば、お申し出ください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	54	7	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	30	12	7	13		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	62	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	60	1	1	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	59	3	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	56	3	1	2		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	58	3	1	0	利用されている人数の多さから、相談しにくいときがあります。	主に支援後のフィードバック時にご家庭などでお子さまの様子をお伺いし、発達状況や課題について保護者さまと共通理解を図るよう努めております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	49	8	1	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	56	4	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	55	6	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	58	2	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	60	2	0	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47	11	0	4	支援中は何かあればすぐに行ける距離にしているようにしていたので、避難場所などに気をつけていませんでした。	避難経路・避難場所の掲示、感染症予防への対策・対応を行っています。定期的な情報提供や個別に配布物にて周知するなど、より体制を強化できるよう検討を進めてまいります。 また、サロンスペースに災害時対応マニュアル（BCP文書）もございます。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50	7	0	5	鍵はいつでもあいているので防犯対策は少し気になります。	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施し、消防法により年2回以上の消防訓練を実施しております。また、お子さまと一緒に防災訓練PGMを実施することがあります。教室内には避難場所や災害時対応マニュアル（BCP文書）を掲示しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。						
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	51	8	1	2	楽しんでいるときと、行き渋りになることもある。個別支援の時間を毎週受けられたらいいと思います。	お子さまが「また来たい」と思える安心できる環境設作りや、お子さまの好き・得意を活かした学びを提供できるよう引き続き努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	49	11	2	0	集団指導も助かるが、個別指導を増やしてほしい。集団でいろんな子と一緒に活動ができるのはいい経験になると思っています。	お子さまの一人一人にあった学びや成長実感に貢献できるよう引き続き努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
LITALICOジュニアなかもず教室		2025年 3月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	法令を遵守したスペースを確保しています。	指導訓練室は、法令を遵守したスペースを確保しております。サロンスペース等の付属施設についても、限られたスペースではありますが快適に過ごしていただけるよう、工夫してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）しています	お子さまの状況を踏まえて適切に職員を配置してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	お子様が楽しく通っていただけるよう、明るく楽しさを感じられるようなファシリティを取り入れています。 また指導室内は、お子様の注意集中のため、飾りつけなどせず、極力シンプルな内装としております。	お子様によっては、情報伝達手段が不足している状況もあるので、口頭だけでなく視覚的なイラストやジェスチャーなどの配慮を適切に行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	4	清掃の箇所や手順等を定めたチェックシートに基づき、毎日清掃・消毒を行っています。	清掃を行う中で安全確認を徹底して、お子様が活動しやすい環境をつくっていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	3	日次・週次で職員参加の会議を実施しています。 半年に1度、教室内全体での目標設定を行い、各自担当を持って実施しています。	シフト制のため共有事項が漏れてしまうことがないよう日次・週次での会議の議事録を残して確認していくよう努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。	引き続き、保護者様の意向等を把握する機会を設けて業務改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	職員への面談機会や、ミーティング機会を設けています。	引き続き、職員への面談やミーティングの機会を設けて業務改善に努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2	現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。	第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	1ヶ月の初任者研修を実施し、その後必ずすべての指導員に継続的に研修をおこなっています。	研修の開催や、外部で行われる研修の周知などを行い、引き続き学び続ける環境をつくっていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	1	計画期間ごとにアセスメントを取った上で計画を作成しています。 また、統一したアセスメントシートを使用しています。	アセスメントスキルの向上ができるような研修やミーティングを開催し、より質の高い児童発達支援計画を作成してまいります。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。				
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、通所支援計画を策定しています。	引き続き、職員間で児童発達支援計画を共有しながら、計画に沿った支援をおこなっています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		引き続き、多角的なアセスメントを行い、お子さまの状況を確認してまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		引き続き、児童発達支援ガイドラインの内容を踏まえて支援内容を設定してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	お子さまの事例を共有・議論するケース検討会を開催しています。	引き続き、チームでプログラム立案を行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	お子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を追求します。 次の学びにつながる成功体験を重視し、やりたくないことをやらされるのではなく、お子さまが自発的に適切な行動をとったり、学びやすい指導環境をつくりまします。	引き続き、多様なプログラムを工夫して実施してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、通所支援計画を策定しています。	引き続き、個別活動と集団活動を掛け合わせながら、支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっています	引き続き、職員間で情報共有を行ってチーム連携をしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0		引き続き、支援の振り返りを日次で実施してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	毎回指導記録をとり、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	引き続き、指導記録を取ることを徹底し、お子様の状況を把握して支援を実施してまいります。
関係機関や	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	通所支援計画の更新毎に目標と支援内容の見直しを行い、それを基に次期計画を作成しています。	引き続き、定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	LITALICOジュニアではお子さまの支援について担当制はとっておりませんが、児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子さまの状態を把握しチームでの支援を展開しています。 会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当するスタッフ1名程度で参画することが多くなっております。	引き続き、関係機関連携の際にはお子様を理解した職員が参加するよう努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	必要に応じて、関係機関連携を実施しています。 また、連絡票等を用いて情報提供できる体制を整えています。	引き続き、関係機関連携を必要に応じて実施してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		引き続き、移行支援を行い、地域とつながりを持ちながら相互に情報共有する機会を設けてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		引き続き、関係機関連携などを通じて、移行支援を行っています。
		(28～30は、センターのみ回答)				

保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	5	児童発達支援センターと電話等で連携をして、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けています。	児童発達支援センターとのやり取り中で電話以外の連携ができるよう機会を設けてまいります。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	5	園と研修会を行ったり、地域の子どもたちが参加できる施設などの情報提供をパンフレットなどで行っている	交流機会が少ないため、保育園や幼稚園等の先生方と学び合い機会を引き続き行ってまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	支援後のフィードバック時に相談に応じており、必要に応じて事業所内相談支援を活用して共通理解をもつ機会を設けています。	支援後のフィードバックの時間が短い際には、事業所内相談支援や支援中の時間にお話できる機会を設けてまいります。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	LITALICOジュニアでは保護者さまのお子さまへの関わり方についてサポートできるようペアレント・トレーニングや座談会を開催しております。	引き続き、ペアレントトレーニングを実施してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援の内容については、通所支援計画の提示面談時に説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。	引き続き、丁寧な説明を行ってまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				児童発達支援計画を作成する際には、事前に保護者の方へのアンケートを実施し、ご意向を確認する機会を設けています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	通所支援計画の目標に基づいたプログラムを実施しております。	引き続き、主に支援後のフィードバック時の説明・振り返りなどを行っております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	支援後のフィードバック時に相談に応じております。	引き続き、悩みや相談に対応してまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	2	また、ペアレントトレーニングや座談会等を随時実施しています。	ペアレントトレーニングに加えて、きょうだい同士での交流など必要に応じて機会を設定してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	事業所内に意見箱を設置する、事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口電話を設置しています。	引き続き、いただいた苦情に対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	教室内に活動内容やイベントのご案内等を掲示しています。	発達ナビブログの更新を定期的に行ってまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	引き続き、個人情報の取り扱いには留意してまいります。

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1	お子様・保護者様の状態に応じて、ICTやその他視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。また合理的配慮に関するハンドブックを作成するなど、合理的配慮の推進についても尽力しております。	よりお子様にあった視覚情報を提供できるように、職員間で情報を共有してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	今後機会をつくって実施していく予定です。	地域とのつながり機会が少ないので、他事業所や園などとつながりをもつ声かけを実施してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、マニュアルに沿って、定期的に避難訓練を実施しています	避難訓練時に参加できない職員がいないよう、全員出勤の際に実施するなど工夫してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	4	業務継続計画（BCP）を策定し、マニュアルに沿って、定期的に避難訓練を実施しています。	BCPの策定を職員間で共有する時間をとり、適宜更新できる機会をチームで持つことを実施してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	1	全てのお子さまについて、服薬やてんかん等の状況を確認し、職員間で共有し留意して指導を実施しています。	てんかんのお子様の対応についての知識をつける研修を行って、留意して支援に取り組める環境づくりをしてまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております	引き続き、アレルギーのお子様の把握、対応を実施してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	引き続き、ヒヤリハットを共有し、再発防止に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	マニュアルを策定し、研修を実施しています。	引き続き、虐待防止研修をマスト研修として取り入れてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、通所支援計画の特記事項にも記載しています。	引き続き、身体拘束についてのご説明を行い、職員間でも理解を深める研修を行ってまいります。